平成 24 年度後学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス	高岡キャンパス	杉谷キャンパス
授　　業	１０月２日(火) ～ １２月２１日(金)		１０月２日(火) ～ １２月２１日(金) (医学科２～４年次のみ９月２４日(月) から)
冬 季 休 業	１２月２２日(土) ～ １月６日(日)		
授　　業	１月７日(月) ～ ２月１日(金)		１月７日(月) ～ ２月１日(金) (医学科２～４年次のみ１月４日(金) から)
補講・試験	２月４日(月) ～ ２月８日(金)		２月４日(月)、２月５日(火) ２月６日(水) ～ ２月１８日(月)
備　　考	＊　１月１８日(金) は大学入試センター試験準備のため休講とします。 (大学入試センター試験は、１月１９日(土)、２０日(日) に実施されます。) ＊１０月　９日(火) は月曜日の授業を行います。 ＊１１月２２日(木) は金曜日の授業を行います。 ＊　１月１６日(水) は月曜日の授業を行います。		

授　業　時　間

時限	１　限	２　限	３　限	４　限	５　限	夜１限 (６限)	夜２限 (７限)
時間	８：４５ ～ １０：１５	１０：３０ ～ １２：００	１３：００ ～ １４：３０	１４：４５ ～ １６：１５	１６：３０ ～ １８：００	１８：０５ ～ １９：３５	１９：４０ ～ ２１：１０

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P 10 ～ P 26 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　**開講期間は、平成 24 年 10 月2日（火）～平成 25 年2月1日（金）まで** です。

詳細は、表紙裏の「平成 24 年度後学期授業日程」でご確認ください。

なお、授業時間は、次のとおりです。

時限	1　限	2　限	3　限	4　限	5　限	夜１限（６限）	夜２限（７限）
時間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

（試聴授業）

4　初回の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書等）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。ただし、授業を所定回数受講された方には、修了証書を発行します。詳細は受講生窓口にお問い合わせください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項に添付してある「受講希望調書（五福キャンパス）」を **９月７日（金）から９月25日（火）まで** に五福キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴期間中に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴期間）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、以下のように「試聴期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

試聴期間：平成24年10月2日（火）～平成24年10月9日（火）

※月曜授業の試聴日は10月９日（火）となります。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届

・受講料

・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

五福キャンパス受講生窓口は、次のとおりです。

富山大学社会貢献グループ地域連携チーム

〒930-8555　富山市五福3190

ＴＥＬ　076－445－6956　ＦＡＸ　076－445－6033

通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。

（祝日を除く）

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。

受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　8,300 円

（消費税込みです。**授業科目によっては受講料が 8,300 円以外の科目があります。**

その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。

また、複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。既に受講証の交付を受けている場合には、手続きの際に受講証をご提示ください。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講について）

3　休・補講の連絡については教員の指示や各学部等掲示板での周知にご注意ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　受講生は、図書館の利用ができます。利用の際には、受講証をご提示ください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　科目によっては保険に必ず加入していただく科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、施錠し、指定の駐輪場に停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

（総合案内先、問い合わせ先）

1　「オープン・クラス」に関するお問い合わせは、下記五福キャンパス受講生窓口までお願いします。

富山大学社会貢献グループ　地域連携チーム
〒930-8555　富山市五福3190
TEL　076－445－6956　FAX　076－445－6033
ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/
Eメール　lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp
通常は月曜日から金曜日の8：30から17：15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Ｗｅｂシラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。

（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）
また、五福キャンパス受講生窓口において自由にご覧いただくことができます。

3　事前に教室配置図等で講義室をご確認ください。
なお、受講者数等の関係で講義室が変更になることがあります。教員の指示や各学部の掲示にご注意ください。
また、本学ホームページの「Web 掲示情報」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/information/）に教室変更、休講、補講などについての情報が掲載されています。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）
その他、携帯電話からも授業の掲示情報を確認できるようになりました。詳細は、本紙の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

○教養教育	
学務グループ教養教育チーム	**TEL 076-445-6031**
○人文学部	
人文系支援グループ教務担当	**TEL 076-445-6138**
○人間発達科学部	
人間発達系支援グループ教務担当	**TEL 076-445-6258**
○経済学部	
経済系支援グループ教務担当	**TEL 076-445-6517**
○理学部	
理学系支援グループ教務担当	**TEL 076-445-6546**
○工学部	
工学系支援グループ教務担当	**TEL 076-445-6698**

4　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

＊講義室については、試聴日に、共通教育棟の教養教育掲示板で、あるいは受講生窓口（地域連携チーム）にて、必ずご確認下さい。

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	受入可能人数	難易度	備考
1	国家と市民	秋葉悦子	木・5	10	A	
2	自然と情報の数理	阿部幸隆	火・5	5	A	
3	こころの科学	石津憲一郎	火・2	若干名	A	
4	こころの科学	小林真	火・5	10	A	
5	こころの科学	佐藤徳	木・5	若干名	A	
6	現代と教育	若山育代	火・5	若干名	A	
7	日本の歴史と社会	高橋浩二	火・1	5	A	
8	日本文学	呉羽長	月・2	5	A	
9	日本文学	奥野美友紀	火・1	5	A	
10	日本文学	金子幸代	火・2	若干名	A	
11	外国文学	吉田泉	火・5	5	A	
12	音楽	大谷多賀子	月・2	5	A	
13	現代社会論	伊藤智樹	火・5	5	A	
14	日本国憲法	栗田佳泰	月・2	10	A	
15	日本国憲法	彼谷環	火・4	5	A	
16	日本国憲法	八木保夫	木・5	5	A	
17	経済生活と法	三浦哲男	火・5	5	A	
18	市民生活と法	福井修	火・2	20	A	
19	地域の経済と社会・文化	山根拓	木・5	10	A	
20	はじめての経済学	本間哲志	火・2	10	A	
21	地球と環境	大藤茂	月・2	若干名	A	
22	化学物質の世界	椿範立	月・6	10	A	
23	化学物質の世界	柘植清志	木・5	5	A	
24	技術と社会	川口清司	火・5	5	A	
25	技術の世界	山下正人	火・5	5	A	
26	コンピュータの話	中島一樹	火・1	5	A	
27	教養原論演習（Mathematica 数式処理）	奥村弘	月・3	若干名	B	パソコン使用

学部等名：教養教育

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	受　入 可能人数	難易度	備　考
28	教養原論演習（C プログラミング）	奥　村　弘	月・5	若干名	C	パソコン使用
29	応用情報処理（Mathematica 数式処理）	奥　村　弘	月・3	若干名	B	パソコン使用
30	環境	龍　世　祥	木・5	10	A	
31	ジェンダー（性）	佐　藤　裕	木・5	若干名	A	
32	環日本海	岩　内　秀　徳	木・5	10	A	
33	現代の世界（時事的問題）	小　倉　利　丸	他	若干名	A	
34	総合科目特殊講義「日本海学」	和　田　直　也	火・5	10	A	
35	総合科目特殊講義「新聞投稿に挑戦」	橋　本　勝	木・5	正規生の受講希望者が８０名に達しない場合に限り８名まで	A	
36	ドイツ語B (4)	Wolfgang Zoubek	水・4	3	B	
37	フランス語B (4)	近　藤　壽　良	金・4	10	B	
38	ロシア語B (4)	中　澤　敦　夫	月・2	5	B	
39	中国語B (4)	楊　　峰	火・4	5	B	
40	中国語B (4)	応　　広　建	金・4	5	B	
41	ラテン語B (4)	松　崎　一　平	月・2	若干名	B	
42	健康・スポーツ論	布　村　忠　弘	月・1	5	A	6,300 円（7.5 週）
43	健康・スポーツ論	大　川　信　行	月・4	5	A	6,300 円（7.5 週）
44	健康・スポーツ論	山　崎　先　也	木・1	10	A	6,300 円（7.5 週）
45	健康・スポーツ論	山　崎　先　也	木・2	10	A	6,300 円（7.5 週）
46	健康・スポーツ論	堀　田　朋　基	木・3	若干名	A	6,300 円（7.5 週）
47	言語表現	佐　山　三千雄	月・4	10	A	
48	言語表現	坂　　幸　夫	火・3	3	A	
49	コロキアム（世界の映画）	末　岡　　宏	月・5	20	A	
50	コロキアム（競馬学）	立　川　健　治	月・5	5	A	
51	職業と人生（地域と人間）	松　井　隆　幸	木・5	5	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び講義室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
1	中国文化特殊講義	齊　藤　大　紀	月・5	人文４	5	B	
2	中国語コミュニケーション （会話）	夏　　嵐	月・2	人文 417	5	B	
3	中国言語文化特殊講義	磯　部　祐　子 森　賀　一　恵	木・3	人文１	若干名	B	
4	西洋思想史	池　田　真　治	木・4	人文３	5	B	
5	外国語演習（中国語）	齊　藤　大　紀	火・2	人文 LL	5	B	初級中国語を習得していること。
6	中国語コミュニケーション （会話）	夏　　嵐	月・4	人文 417	5	B	
7	中国文化演習	末　岡　　宏	木・2	人文 502	5	B	
8	現代と思想	岡　村　信　孝	木・2	人文１	5	A	
9	朝鮮学入門	和　田　とも美 鈴　木　信　昭 上　保　　敏	月・5	人文３	3	A	
10	日本の社会と文化	立　川　健　治	火・3	人文６	10	B	
11	西洋古典語	永　井　龍　男	月・5	人文 601	3	B	
12	ロシア文化特殊講義	青　木　恭　子	月・3	人文１	5	B	西洋史特殊講義と同時限開講。
13	日本史基礎演習	鈴　木　景　二	火・1	人文１	3	A	
14	西洋史講読	漆　間　真由美	火・3	人文３	3	B	
15	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅱ（1）	ヴォルフガング ツォウベク	火・2	人文 416	3	C	
16	中国文化講読	末　岡　　宏	金・3	人文 502	5	B	
17	東洋史概説Ⅱ	澤　田　　稔	火・4	人文３	5	B	
18	人間学演習Ⅰ	松　崎　一　平	水・2	人文 601	制限なし	B	英語のテキストを使用する。
19	ロシア言語文化講読Ⅰ	中　澤　敦　夫	火・4	人文 316	5	B	
20	中国言語文化講読	森　賀　一　恵	水・1	人文 417	5	B	
21	中国言語文化講読	大　野　圭　介	金・3	人文 417	3	B	現代中国語を習得していることを前提として授業を行う。
22	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅰ（1）	ヴォルフガング ツォウベク	火・3	人文 416	3	B	
23	朝鮮語コミュニケーション （作文）	和　田　とも美	火・3	人文 211	3	B	
24	日本文化演習	立　川　健　治	木・3	人文 502	5	B	
25	英語コミュニケーション （作文）Ⅰ	キタノ　アスカ	金・2	人文１及び７	5～6	C～D	
26	言語学概論Ⅰ	安　藤　智　子	木・4	人文６	5	A	
27	比較文化概論	金　子　幸　代	火・4	人文４	3	A	
28	哲学講読	永　井　龍　男	木・3	人文３	3	A	

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
29	宗教思想	松　崎　一　平	火・4	人文６	制限なし	A	
30	日本史概説Ⅰ	鈴　木　景　二	水・1	人文４	5	B	
31	西洋史特殊講義	青　木　恭　子	月・3	人文１	5	B	ロシア文化特殊講義と同時限開講。
32	英米言語文化演習Ⅱ	大工原　ちなみ	火・2	人文214	3	C	
33	日本文学特殊講義	呉　羽　　長	水・2	人文４	5	C	
34	ドイツ語コミュニケーション（作文）初級	ヴォルフガング ツォウベク	水・2	人文416	2	B	
35	人間学演習Ⅰ	田　畑　真　美	木・4	人文601	3	C	
36	ドイツ言語文化講読Ⅱ	別　本　明　夫	金・3	人文LL	2	B	
37	ドイツ語コミュニケーション（作文）中級	ヴォルフガング ツォウベク	水・1	人文416	2	C	
38	ロシア言語文化特殊講義	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	水・4	人文316	5	C	
39	朝鮮言語文化概論	上　保　　敏	金・4	人文211	3	B	
40	英米言語文化講読Ⅰ	大工原　ちなみ	月・2	人文１	3	B	
41	人文地理学概論	大　西　宏　治	木・2	人文４	5	A	
42	中国言語文化演習	大　野　圭　介	木・2	人文417	3	B	現代中国語を習得していることを前提として授業を行う。
43	実践ロシア語演習Ⅰ	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	水・3	人文316	5	B	
44	人間学特殊講義	田　畑　真　美	火・2	人文２	3	A	高校倫理・日本史を履修していなくても受講可。
45	心理学概論Ⅰ	喜　田　裕　子 黒　川　光　流 （新規採用教員予定）	木・2	人文６	5	A	
46	ドイツ言語文化演習Ⅰ	ヴォルフガング ツォウベク	火・4	人文416	2	B	
47	英米言語文化演習Ⅰ	恒　川　正　巳	火・4	共通E44	2	B	
48	ロシア言語文化演習Ⅱ	中　澤　敦　夫	木・3	人文316	5	C	
49	実践ロシア語演習Ⅱ	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	水・2	人文316	5	C	
50	比較文化演習	金　子　幸　代	木・4	人文419	2	B	
51	音声学Ⅱ	安　藤　智　子	月・4	人文701	3	B	
52	西洋史特殊講義	竹　村　　卓	木・5	人文３	5	B	・レポートの提出または試験の受験を求める。 ・国際関係論特殊講義及び国際関係論（政治学）と同時限開講。
53	ドイツ言語文化演習Ⅱ	別　本　明　夫	水・2	人文LL	2	B	
54	比較文化実習	金　子　幸　代	木・3	人文419	2	B	
55	人間学演習Ⅰ	岡　村　信　孝	金・3	人文601	2	B	
56	国際関係論特殊講義	竹　村　　卓	木・5	人文３	5	B	・レポートの提出または試験の受験を求める。 ・西洋史特殊講義及び国際関係論（政治学）と同時限開講。

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
57	哲学講読	池　田　真　治	木・1	人文３	3	A	
58	ロシア語コミュニケーションⅢ （上級）	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	金・2	人文 316	5	C	
59	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅱ（２）	ヴォルフガング ツォウベク	金・2	人文 416	3	C	
60	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅰ（２）	ヴォルフガング ツォウベク	金・3	人文 416	3	B	
61	言語学特殊講義Ｅ	樋　野　幸　男	金・4	人文２	5	B	
62	西洋思想史	永　井　龍　男	火・3	人文４	5	B	
63	ロシア文化論	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	金・4	人文 316	5	C	
64	ドイツ文学史	宮　内　伸　子	火・1	人文 LL	5	B	
65	社会学概論	佐　藤　　裕	月・1	人文６	5	A	
66	西洋史特殊講義	徳　橋　　曜	金・4	人発 221	3	B	
67	文化人類学特殊講義	竹　内　　潔	木・5	人文５	5	B	
68	生涯学習概論	藤　田　公仁子	火・2	共通 D11	10	A	
69	視聴覚教育メディア論	黒　田　　卓	火・5	人文６	5	B	パソコン使用
70	日本文学史	二　村　文　人	火・1	人文６	5	B	
71	朝鮮語コミュニケーション （会話）	宋　　有　宰	火・2	人文 211	3	B	火曜１限目の同授業科目名・同教員担当の授業はオープンクラス対象外。
72	日本文学特殊講義	二　村　文　人	木・5	人文６	5	B	
73	日本史特殊講義	熊　谷　隆　之	木・3	人文４	5	B	
74	国際文化概論	小　野　直　子 青　木　恭　子 末　岡　　宏 鈴　木　信　昭	木・4	人文４	講義室に収容可能範囲内	B	
75	古文書学実習	熊　谷　隆　之	金・5	人文２	5	B	
76	哲学特殊講義	池　田　真　治	月・3	人文３	5	B	
77	国際関係論（政治学）	竹　村　　卓	木・5	人文３	5	B	・レポートの提出または試験の受験を求める。 ・西洋史特殊講義及び国際関係論特殊講義と同時限開講。
78	中国語コミュニケーション （作文）	夏　　嵐	水・2	人文 417	4	B	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び講義室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	講義室	受入可能人数	難易度	備考
1	青年心理学	姜　信善	月・4	人間 112	3	B	
2	発達臨床心理学	下田芳幸	火・2	人間実践センター	3	B	
3	心理学研究法	村上宣寛	火・4	人間 142	3	B	
4	臨床心理学	石津憲一郎	水・2	人間実践センター	3	B	(注1)
5	心理学教育論	小川　亮	木・1	人間実践センター	3	B	
6	学習心理学	村上宣寛	木・3	人間 113	3	B	
7	発達心理学	姜　信善	木・4	人間 331	3	A	
8	学級集団心理学	佐藤　徳	金・1	人間 141	5	B	
9	認知心理学	小川　亮	金・5	人間端末室	3	B	パソコン使用
10	地域交流活動論	隅　敦	木・1	人間 332	5	B	
11	教育史	廣瀬　信	木・5	人間 112	3	B	
12	保育者論	若山育代	月・1	人間 111	3	A	
13	家庭支援論	西館有沙	月・1	人間 113	5	B	
14	保育の心理学Ⅰ	小林　真	月・5	人間 113	3	A	
15	保育内容総論	若山育代	火・4	人間 111	3	B	
16	社会的養護	西館有沙	火・4	人間 113	5	B	
17	就労支援論	志賀文哉	木・3	人間 116	5	B	
18	社会福祉概論Ⅰ	志賀文哉	金・1	人間 331	5	A	
19	社会学	志賀文哉	金・4	人間 142	5	A	
20	幼児理解と相談支援	小林　真	金・5	人間 111	5	A	
21	地域と健康	布村忠弘	木・2	人間 311	5	B	
22	運動生理学	堀田朋基	月・1	人間 331	5	A	
23	スポーツ審判論	西川友之	月・3	人間 311	5	B	
24	スポーツ社会学	水谷秀樹	月・4	人間 311	5	B	
25	スポーツ運動学	佐伯聡史	火・3	人間 311	5	B	
26	解剖学	布村忠弘	火・4	人間 332	5	A	
27	スポーツ動作分析法	堀田朋基	火・4	人間 311	5	B	
28	スポーツ史	大川信行	水・1	人間 331	5	B	
29	スポーツ技術・戦術論	大川信行	水・2	人間 342	5	B	
30	スポーツ栄養学	澤　聡美	木・3	人間 342	5	B	

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	講義室	受入可能人数	難易度	備考
31	学校と健康	布村忠弘	木・4	人間 332	5	B	
32	スポーツ心理学	福島洋樹	金・2	人間 311	10	B	
33	スポーツ指導論	佐伯聡史	金・2	人間 332	5	B	
34	環境とリサイクル	片岡弘 林衛	水・2	人間 341	3	A	
35	気候環境論	田上善夫	月・1	人間 221	3	B	
36	生活環境化学	片岡弘	月・2	人間端末室	3	B	パソコン使用
37	ヒトの動きの機能解剖学	鳥海清司	火・1	人間 311	3	A	パソコン使用
38	化学物質の機能と環境	片岡弘	火・2	人間各実験室	3	A	講義室については、別途お問い合わせください。
39	地球表層変動学	椚座圭太郎	火・4	人間各実験室	3	B	講義室については、別途お問い合わせください。
40	カラーコーディネート論	秋月有紀	火・4	人間 211	3	B	
41	ホームマネージメント	神川康子	水・2	人間 211	3	B	
42	科学技術社会論	林衛	木・1	人間端末室	5	A	パソコン使用
43	生活工学	秋月有紀	木・1	人間 211	3	A	
44	都市景観論	秋月有紀	木・2	人間 211	3	A	
45	地域企業論	根岸秀行	木・2	共通 A41	3	B	
46	人間安全保障論	佐藤幸男	木・2	人間 112	5	B	
47	生活環境デザイン	神川康子	木・3	人間 211	3	A	パソコン使用
48	基礎生物学	安本史恵	木・4	人間各実験室	5	B	・講義室については、別途お問い合わせください。 ・パソコン使用
49	環境と人権	高橋満彦	木・4	人間 111	3	B	
50	ヨーロッパ地域史論	徳橋曜	金・2	人間 211	5	A	パソコン使用
51	環境コミュニケーション論	林衛	金・2	人間各演習室	3	B	・講義室については、別途お問い合わせください。 ・パソコン使用
52	身体の形態と機能の測定	鳥海清司	金・3	人間 332	3	C	
53	環境歴史学	徳橋曜	金・4	人間 221	5	B	
54	コンピュータ概論	黒田卓	火・1	人間 342	3	B	
55	情報幾何学	山口範和	火・3	人間 331	3	B	
56	メディア芸術論	鼓みどり	火・3	人間 342	3	B	
57	基本プログラミング	竹村哲	水・1	総合情報基盤センター 2F	3	A	パソコン使用
58	数理システム概論	山口範和	木・2	人間 331	3	A	
59	線形システム概論	大森克史	木・4	人間 221	3	A	
60	教育工学概論	山西潤一	金・2	人間 342	3	B	パソコン使用

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受入 可能人数	難易度	備　考
61	情報教育概論	山　西　潤　一	金・4	人間 342	3	B	パソコン使用

（注１）ただし、精神科に通院していた方や、現在精神科の治療を受けている方は、担当教員と事前に相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び講義室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：経済学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受入 可能人数	難易度	備　考
1	私法概論	香川　崇	水・2	経済 201	5	A	前・後学期の通年開講
2	コーポレート・ファイナンス	鈴木基史 森口毅彦	金・4	経済 301	5	B	前・後学期の通年開講
3	比較経営論	森岡　裕	月・1 木・3	経済 301	10	B	13,300 円
4	債権法Ⅱ（各論）	橋口賢一	月・1 木・3	経済 401	5	B	13,300 円
5	地域経済論	小柳津英知	月・2 木・2	経済 201	5	B	13,300 円
6	金融論Ⅱ	山田潤司	月・2 木・2	経済 101	10	B	13,300 円
7	ゲーム分析	平井俊行	月・2 木・2	経済 301	5	B	13,300 円
8	計量経済学	ﾓｳﾞｼｭｸ･ｵﾚｸｻﾝﾀﾞｰ	月・3 金・2	経済 101	5	B	・13,300 円 ・パソコン使用
9	民事執行法	岩本　学	月・3	経済 301	5	C	
10	経営経済の基礎数学Ⅱ	白石俊輔	月・4	経済 401	5	A	
11	公共経済学	古田俊吉	火・1 水・2	経済 401	10	B	13,300 円
12	人的資源管理	馬　駿	火・1 水・2	共通 C12	5	B	13,300 円
13	マクロ経済学Ⅱ	新里泰孝	火・3 金・1	経済 101	5	B	・13,300 円 ・パソコン使用
14	国際取引法	立石孝夫	火・3 金・1	経済 401	10	B	13,300 円
15	国際経済学	垣田直樹	火・4 木・1	経済 201	5	B	13,300 円
16	貿易論	岸本壽生	火・4 木・1	経済 301	10	B	13,300 円
17	資源経済学	山本雅資	水・1 金・3	経済 101	10	C	13,300 円
18	証券市場論	本間哲志	金・3	共通 C11	20	A	
19	地域社会学Ⅰ	高山龍太郎	金・4	経済 101	10	B	
20	企業倫理論	水谷内徹也	月・6	経済 301	10	B	
21	経済史総論	青地正史	火・6 火・7	経済 201	10	A～B	13,300 円
22	労働法	竹地　潔	火・6 火・7	経済 101	5	B	13,300 円
23	特殊講義　システム分析 （情報処理演習）	古川　勝	水・6 水・7	経済 301	5	A	13,300 円
24	税法	伊藤嘉規	水・6 水・7	経済 401	5	C	13,300 円
25	国際金融論	久保彰宏	木・6 木・7	経済 201	5	B	13,300 円
26	経営戦略論	内田康郎	木・6 木・7	経済 301	5	B	13,300 円
27	経済法	中出孝典	木・6 木・7	経済 101	5	B	13,300 円
28	経営科学概説	白石俊輔	金・6 金・7	経済 301	5	A	13,300 円
29	環境法	八木保夫	金・6 金・7	経済 401	5	B	13,300 円

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
1	微分積分学Ⅱ	数学科	吉　田　範　夫	月・4	未定	若干名	C	(注 1)
2	応用数学基礎	数学科	永　井　節　夫	木・1	未定	若干名	C	(注 1)
3	統計学序説	数学科	小　林　久壽雄	金・5	理 C104	若干名	C	(注 1)
4	解析学Ⅱ	数学科	久　保　文　夫	月・5 木・3	理 A238	若干名	C	(注 1) 13,300 円
5	線形代数学Ⅱ	数学科	東　川　和　夫	火・2 水・1	理 A238	若干名	C	(注 1) 13,300 円
6	位相数学	数学科	池　田　榮　雄	月・2 木・4	理 A238	若干名	C	(注 1) 13,300 円
7	複素解析学Ⅰ	数学科	阿　部　幸　隆	金・3	理 A238	若干名	C	(注 1)
8	情報科学序論	数学科	幸　山　直　人	水・3	センター 4階端末室	若干名	B	パソコン使用
9	代数学Ⅱ	数学科	木　村　　巌	火・2	理 C105	若干名	C	(注 1)
10	幾何学Ⅱ	数学科	古　田　高　士	水・2	理 A238	若干名	C	(注 1)
11	実解析学	数学科	菊　池　万　里	木・2	理 A239	若干名	C	(注 1)
12	微分方程式論	数学科	藤　田　安　啓	月・2	理 A425	若干名	C	(注 1)
13	数値解析学	数学科	上　田　肇　一	木・3	理 C105	若干名	C	(注 1)
14	情報数理	数学科	幸　山　直　人	金・2	理 A135	若干名	C	(注 1)
15	微分積分学B	数学科	出　口　英　生	月・4	理 A337	若干名	C	(注 1)
16	解析学Ⅱ	数学科	濱　名　正　道	金・4	理 A336	若干名	C	(注 1)
17	線形代数学B	数学科	木　村　　巌	火・1	理 A336	若干名	C	(注 1)
18	線形代数学Ⅱ	数学科	浅　沼　照　雄	木・1	理 A337	若干名	C	(注 1)
19	物理学序説Ⅱ	物理学科	桑　井　智　彦	木・4	未定	5	A	パソコン使用
20	物理学概論Ⅱ	物理学科	清　水　建　次	木・4	未定	3 名程度	A	パソコン使用
21	力学序論	物理学科	石　川　義　和	火・1	理 A239	若干名	A	
22	物理数学A	物理学科	栗　本　　猛	金・4	理 A238	5	C	
23	力学Ⅱ	物理学科	兼　村　晋　哉	金・3	理 A337	5	B	パソコン使用
24	電磁気学Ⅰ	物理学科	森　脇　喜　紀	火・2 金・2	理 A337	5	A	13,300 円 パソコン使用
25	熱力学	物理学科	田　山　　孝	火・4	理 A337	若干名	B	パソコン使用
26	統計力学	物理学科	飯　田　　敏	月・1 火・3	理 A239	5	C	・熱力学の内容，力学，電磁気学，量子力学の初歩的内容を修得していること。 ・パソコン使用 ・13,300 円
27	量子力学Ⅱ	物理学科	兼　村　晋　哉	月・2	理 A239	若干名	C	パソコン使用
28	物性物理学A	物理学科	池　本　弘　之	火・2	理 C104	若干名	B	パソコン使用
29	核・素粒子物理学A	物理学科	兼　村　晋　哉	金・2	理 A336	5	C	パソコン使用

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
1	微分積分学Ⅱ	数学科	吉　田　範　夫	月・4	未定	若干名	C	(注 1)
2	応用数学基礎	数学科	永　井　節　夫	木・1	未定	若干名	C	(注 1)
3	統計学序説	数学科	小　林　久壽雄	金・5	理 C104	若干名	C	(注 1)
4	解析学Ⅱ	数学科	久　保　文　夫	月・5 木・3	理 A238	若干名	C	(注 1) 13,300 円
5	線形代数学Ⅱ	数学科	東　川　和　夫	火・2 水・1	理 A238	若干名	C	(注 1) 13,300 円
6	位相数学	数学科	池　田　榮　雄	月・2 木・4	理 A238	若干名	C	(注 1) 13,300 円
7	複素解析学Ⅰ	数学科	阿　部　幸　隆	金・3	理 A238	若干名	C	(注 1)
8	情報科学序論	数学科	幸　山　直　人	水・3	センター 4階端末室	若干名	B	パソコン使用
9	代数学Ⅱ	数学科	木　村　　巌	火・2	理 C105	若干名	C	(注 1)
10	幾何学Ⅱ	数学科	古　田　高　士	水・2	理 A238	若干名	C	(注 1)
11	実解析学	数学科	菊　池　万　里	木・2	理 A239	若干名	C	(注 1)
12	微分方程式論	数学科	藤　田　安　啓	月・2	理 A425	若干名	C	(注 1)
13	数値解析学	数学科	上　田　肇　一	木・3	理 C105	若干名	C	(注 1)
14	情報数理	数学科	幸　山　直　人	金・2	理 A135	若干名	C	(注 1)
15	微分積分学B	数学科	出　口　英　生	月・4	理 A337	若干名	C	(注 1)
16	解析学Ⅱ	数学科	濱　名　正　道	金・4	理 A336	若干名	C	(注 1)
17	線形代数学B	数学科	木　村　　巌	火・1	理 A336	若干名	C	(注 1)
18	線形代数学Ⅱ	数学科	浅　沼　照　雄	木・1	理 A337	若干名	C	(注 1)
19	物理学序説Ⅱ	物理学科	桑　井　智　彦	木・4	未定	5	A	パソコン使用
20	物理学概論Ⅱ	物理学科	清　水　建　次	木・4	未定	3 名程度	A	パソコン使用
21	力学序論	物理学科	石　川　義　和	火・1	理 A239	若干名	A	
22	物理数学A	物理学科	栗　本　　猛	金・4	理 A238	5	C	
23	力学Ⅱ	物理学科	兼　村　晋　哉	金・3	理 A337	5	B	パソコン使用
24	電磁気学Ⅰ	物理学科	森　脇　喜　紀	火・2 金・2	理 A337	5	A	13,300 円 パソコン使用
25	熱力学	物理学科	田　山　　孝	火・4	理 A337	若干名	B	パソコン使用
26	統計力学	物理学科	飯　田　　敏	月・1 火・3	理 A239	5	C	・熱力学の内容，力学，電磁気学，量子力学の初歩的内容を修得していること。 ・パソコン使用 ・13,300 円
27	量子力学Ⅱ	物理学科	兼　村　晋　哉	月・2	理 A239	若干名	C	パソコン使用
28	物性物理学A	物理学科	池　本　弘　之	火・2	理 C104	若干名	B	パソコン使用
29	核・素粒子物理学A	物理学科	兼　村　晋　哉	金・2	理 A336	5	C	パソコン使用

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　　考
30	電磁波物理学	物理学科	小　林　かおり	水・2	理 A424	5 名程度	B	量子力学あるいは量子化学の初歩を習得していること。
31	化学概論Ⅱ	化学科	宮　澤　眞　宏	木・3	理 A424	5 名程度	A	パソコン使用
32	化学概論Ⅱ	化学科	林　　直　人	木・3	未定	5 名程度	A	
33	放射線基礎学	化学科	鳥　養　祐　二	火・1	未定	若干名	A	
34	化学熱力学Ⅰ	化学科	岩　村　宗　高	金・4	理 C104	5 名程度	A	
35	量子化学Ⅰ	化学科	野　崎　浩　一	火・1	理 A238	5 名程度	B	
36	有機化学Ⅰ	化学科	樋　口　弘　行	月・5	理 A424	5 名程度	A	
37	化学反応学	化学科	大　澤　　力	水・1	理 A239	若干名	B	
38	無機化学Ⅰ	化学科	柘　植　清　志	月・2	理 A337	5 名程度	A	
39	構造有機化学	化学科	林　　直　人	月・1	理 A337	5 名程度	B	
40	反応有機化学	化学科	横　山　　初	金・2	理 A424	5 名程度	B	
41	化学平衡学	化学科	松　山　政　夫	火・1	理 C203	若干名	B	化学熱力学を受講済みのこと。
42	溶液化学	化学科	鈴　木　　炎	金・2	理 C204	若干名	C	
43	材料科学	化学科	波多野　雄　治	火・2	理 C203	10 名程度	B	
44	合成有機化学	化学科	平　井　美　朗	木・2	理 C105	5 名程度	B	
45	基礎動物形態学	生物学科	内　山　　実	火・1	未定	3	A	
46	基礎細胞遺伝学	生物学科	岩　坪　美　兼	金・5	未定	5	B	
47	動物生理学	生物学科	菊　川　　茂	木・2	理 A238	若干名	B	
48	植物生理学	生物学科	唐　原　一　郎	水・2	理 A239	5	B	
49	発生制御学	生物学科	若　杉　達　也	火・2	理 A336	5	C	
50	動物系統進化学	生物学科	山　崎　裕　治	木・1	理 C104	5	B	
51	分子遺伝学	生物学科	山　田　恭　司	木・1	理 A238	5	B	
52	地球科学概論Ⅱ	地球科学科	竹　内　　章 島　田　亙 柏　木　健　司	金・1	未定	若干名	A	
53	地球科学概論Ⅱ	地球科学科	清　水　正　明 安　永　数　明 渡　邊　　了	金・1	未定	若干名	A	
54	地球生命環境理学	地球科学科	竹　内　　章 飯　田　美　敏 平　井　裕　朗 内　山　清　実 清　水　正　治 蒲　池　浩　明 和　田　直　之 倉　光　英　也 串　田　圭　樹 上　岡　　司 森　　晃　裕	月・1	未定	10 名程度	A	

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
55	一般地質学	地球科学科	大　藤　　茂	火・1	理 A424	若干名	A	
56	古生物学	地球科学科	柏　木　健　司	月・4	理 A239	若干名	B	
57	岩石学	地球科学科	石　崎　泰　男	木・1	理 C105	若干名	B	
58	構造地質学	地球科学科	竹　内　　章	金・2	理 A238	若干名	B	
59	雲物理学	地球科学科	青　木　一　真	火・2	理 A425	若干名	C	
60	リモートセンシング学	地球科学科	串　田　圭　司	火・4	理 A238	若干名	B	
61	環境基礎生物学Ａ	生物圏環境科学科	中　村　省　吾	金・3	理 A336	若干名	B	
62	環境基礎化学	生物圏環境科学科	波　多　宣　子	月・5	理 C104	若干名	A	
63	生態学	生物圏環境科学科	石　井　　博	木・1	理 A239	若干名	B	
64	環境化学計測	生物圏環境科学科	倉　光　英　樹	火・2	理 A424	若干名	B	
65	環境動物生理学	生物圏環境科学科	野　口　宗　憲	金・2	理 C105	若干名	B	
66	保全生物学	生物圏環境科学科	横　畑　泰　志	水・1	理 A424	若干名	B	
67	環境地球化学	生物圏環境科学科	上　田　　晃	火・2	理 A239	若干名	B	

（注１）当該授業科目履修のためには、開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。履修を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び講義室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
1	電子物性工学３	電気電子システム工学科	山　崎　登志成	月・1	工 207	5	B	
2	量子力学２	電気電子システム工学科	小　野　行　徳	月・2	工 210	5	B	
3	電気回路１	電気電子システム工学科	作　井　正　昭	月・3	工 210	5	A	
4	ディジタル電子回路	電気電子システム工学科	坂　上　岩　太	火・1	工 205	5	B	
5	アナログ電子回路２	電気電子システム工学科	中　島　一　樹	火・2	工 205	5	B	
6	集積回路工学	電気電子システム工学科	岡　田　裕　之	火・2	工 210	若干名	B	
7	電子物性工学１	電気電子システム工学科	丹　保　豊　和	火・3	工 206	若干名	B	
8	熱・波動	電気電子システム工学科	山　下　正　人	火・4	共 D22	5	A	
9	半導体デバイス１	電気電子システム工学科	前　澤　宏　一	火・4	工 205	若干名	B	
10	電力応用工学	電気電子システム工学科	伊　藤　弘　昭	火・4	工 103	5	B	
11	電気エネルギー工学２	電気電子システム工学科	大　竹　剛　史 中　村　明　博 金　尾　則　一 堀　田　　剛 能　登　尚　一 松　本　安　弘	水・1	工 205	若干名	B	
12	電気数学３	電気電子システム工学科	山　下　正　人	水・2	共 D22	5	B	
13	信号処理工学	電気電子システム工学科	荏　戸　立　夫	木・1	工 207	5	C	
14	電磁気学１	電気電子システム工学科	中　　茂　樹	金・1	工 105	5	B	
15	電磁波工学２	電気電子システム工学科	坂　上　岩　太	金・2	工 210	5	B	
16	電気機器工学１	電気電子システム工学科	作　井　正　昭	金・3	工 210	5	B	
17	システム制御工学２	電気電子システム工学科	チャピ　ゲンツィ	金・3	工 103	若干名	C	
18	計算機工学	電気電子システム工学科	鈴　木　正　康	金・4	共 D12	5	A	
19	電磁気学１	電気電子システム工学科	森　　雅　之	金・1	工 210	5	B	
20	工学特論（先進送配電工学）	電気電子システム工学科	田　中　和　幸	水・2	工 207	5	C	
21	デジタル信号処理	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・2	工 108	10	B	
22	知的システム	知能情報工学科	堀　田　裕　弘	月・3	工 108	5	B	
23	ブレインコンピューティング	知能情報工学科	田　端　俊　英	金・1	工 108	若干名	B	
24	数値解析	知能情報工学科	吉　澤　壽　夫	月・4	工 207	5	B	
25	組込みシステム	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・4	工 108	10	C	
26	離散数学	知能情報工学科	菊　島　浩　二	火・4	工 106	5	A	
27	電子回路工学	知能情報工学科	田　端　俊　英	火・2	工 106	若干名	B	
28	情報セキュリティ	知能情報工学科	田　島　正　登	火・2	工 108	5	C	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
29	マルチメディア工学	知能情報工学科	唐　政	月・3	未定	10	C	
30	微分積分Ⅱ	知能情報工学科	角　畠　浩	水・2	共B21	10	A	
31	計算論	知能情報工学科	西　田　泰　伸	水・3	工108	5	C	
32	プログラミングⅡ	知能情報工学科	酒　井　充	木・4	共D21	若干名	B	「プログラミングⅠ」相当の知識が必要となります。
33	通信システム	知能情報工学科	菊　島　浩　二	木・4	工210	5	B	
34	オペレーティングシステム	知能情報工学科	高　松　衛	金・4	工108	5	B	
35	材料力学第２	機械知能システム工学科	五　嶋　孝　仁	水・3	工210	5	B	
36	自動車工学	機械知能システム工学科	手　崎　衆 川　口　清　司 小　熊　規　泰 高須賀　祥　隆 金　子　誠	月・3	工103	若干名	B	
37	基礎材料工学	機械知能システム工学科	高　辻　則　夫	火・1	工103	5	B	
38	複素解析学	機械知能システム工学科	松　島　紀　佐	火・1	工210	10	B	
39	流体力学	機械知能システム工学科	川　口　清　司	火・2	工207	5	B	
40	環境工学概論	機械知能システム工学科	平　澤　良　男	水・1	工103	5	B	
41	化学	機械知能システム工学科	手　崎　衆	水・2	共D21	若干名	A	
42	数値解析	機械知能システム工学科	瀬　田　剛	水・2	工105	5	B	
43	計測工学・精密測定学演習	機械知能システム工学科	三　原　毅 田　代　発　造	木・1	工106	5	B	
44	基礎熱力学	機械知能システム工学科	手　崎　衆	木・3	工210	若干名	B	
45	力学第２	機械知能システム工学科	関　本　昌　紘	木・4	共D22	5	A	
46	強度設計工学	機械知能システム工学科	笠　場　孝　一	木・4	工103	5	B	パソコン使用
47	バイオメカニクス	機械知能システム工学科	石　原　外　美	金・2	工206	5	B	
48	シミュレーション工学	機械知能システム工学科	タチアナ ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	金・3	未定	若干名	B	パソコン使用
49	応用数学第１	機械知能システム工学科	瀬　田　剛	月・3	工106	5	A	
50	ロボット工学	機械知能システム工学科	関　本　昌　紘	金・4	工206	5	B	
51	基礎情報工学	機械知能システム工学科	タチアナ ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	金・5	工205	若干名	A	
52	基礎生理学	生命工学科	黒　澤　信　幸	火・3	工108	若干名	B	
53	化学生物分離工学	生命工学科	川　崎　博　幸	水・2	工202	3	C	
54	健康・福祉工学	生命工学科	中　村　真　人	月・4	工203	5	B	
55	生命計測工学	生命工学科	川　原　茂　敬	火・1	工207	5	B	
56	細胞代謝学Ⅱ	生命工学科	佐　山　三千雄	火・1	工209	10	B	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
57	データ解析概論	生命工学科	黒　岡　武　俊	月・2	工学部 端末室	若干名	B	パソコン使用
58	環境衛生工学	生命工学科	山　本　辰　美	火・2	工 202	若干名	B	
59	化学生物物質移動論	生命工学科	川　崎　博　幸	火・2	工 203	3	B	
60	生物化学工学Ⅱ	生命工学科	森　　英　利	火・4	工 107	5	A	
61	細胞生物学	生命工学科	篠　原　寛　明	水・1	工 208	若干名	B	
62	生化学Ⅱ	生命工学科	佐　山　三千雄	木・1	工 209	10	B	
63	遺伝子工学Ⅰ	生命工学科	安　川　洋　生	木・2	工 206	5	B	
64	基礎生物学	生命工学科	磯　部　正　治	木・4	工 207	若干名	A	
65	生物反応工学	生命工学科	星　野　一　宏	金・2	工 202	5	B	
66	物理化学Ⅰ	生命工学科	森　　英　利	金・4	工 210	5	B	
67	無機化学Ⅰ	生命工学科	篠　原　寛　明	火・1	共 E21	若干名	A	
68	高分子物性化学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	月・2	工 207	10	C	
69	工学特論（分子固体物性工学）	環境応用化学科	宮　崎　　章	月・2	工 203	10	C	パソコン使用
70	化学工学概論	環境応用化学科	劉　　貴　慶	火・2	工 105	5	B	
71	分子構造解析演習	環境応用化学科	遠　田　浩　司	火・2	工 206	5	C	
72	高分子合成化学	環境応用化学科	北　野　博　巳	火・3	工 207	5	B	
73	工学特論（有機分子工学）	環境応用化学科	堀　野　良　和	水・1	工 206	若干名	B	
74	生化学Ⅱ	環境応用化学科	小　野　　慎	水・2	工 103	若干名	B	
75	界面材料工学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	水・2	工 204	10	C	
76	工学特論（有機合成化学）	環境応用化学科	阿　部　　仁	火・1	工 105	若干名	B	
77	機器分析	環境応用化学科	遠　田　浩　司	木・2	工 207	5	C	
78	反応工学	環境応用化学科	椿　　範　立	木・3	工 105	若干名	B	
79	量子分子工学	環境応用化学科	吉　村　敏　章	金・2	工 102	若干名	B	
80	分析化学	環境応用化学科	加賀谷　重　浩	金・4	工 207	5	A	
81	無機材料化学	環境応用化学科	會　澤　宣　一	月・5	工 105	5	C	
82	無機化学	環境応用化学科	會　澤　宣　一	金・5	工 108	5	A	
83	有機材料工学	環境応用化学科	米　山　嘉　治	金・5	工 102	5	B	
84	粉体工学	材料機能工学科	高　瀬　　均	木・2	工 103	5	B	
85	相変態序説Ⅰ	材料機能工学科	松　田　健　二	月・2	工 205	若干名	B	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	備　考
86	微粒子工学	材料機能工学科	高　瀬　　均	水・2	工 102	5	C	
87	材料機能工学演習Ⅲ	材料機能工学科	柴　柳　敏　哉 高　瀬　　均 吉　田　正　道 山　根　岳　志	月・2	工 206	5	B	
88	無機材料学	材料機能工学科	佐　伯　　淳	木・4	工 201	3	B	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び講義室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P35 ～ P36 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　**開講期間は、平成 24 年 10 月2日（火）～平成 25 年2月1日（金）まで** です。

詳細は、表紙裏の「平成 24 年度後学期授業日程」でご確認ください。

なお、授業時間は次のとおりです。

時　限	1	2	3	4	5
時　間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書等）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。ただし、授業を所定回数受講された方には、修了証書を発行します。詳細は受講生窓口にお問い合わせください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項に添付してある「受講希望調書（高岡キャンパス）」を **９月７日（金）から９月25日（火）まで** に下記高岡キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

高岡キャンパス受講生窓口は、次のとおりです。

富山大学社会貢献グループ　芸術文化系研究協力チーム
〒933-8588　富山県高岡市二上町180
TEL：0766-25-9138　FAX：0766-25-9212
通常は月曜日から金曜日の８：30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「試聴証」をお渡しします。

この試聴証は、試聴期間中にお付けいただきますので、紛失されないようにご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。

試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・写真（受講証用：2.5㎝× 3.5㎝）
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等の写し

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。

受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　8,300 円

（消費税込みです。**授業科目によっては受講料が 8,300 円以外の科目があります。**

その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となります。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用願います。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講について）

3　休・補講の連絡については芸術文化系学務グループ掲示板（A棟１階　学務グループ入り口前）で周知しています。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　受講生は、図書館の利用ができますので、高岡キャンパス受講生窓口まで申し出てください。

（損害賠償）

6　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

7　科目によっては保険に必ず加入していただく科目がありますのでご注意願います。
　加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で手続きを行ってください。

（通学方法）

8　キャンパスには、駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　その他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）

2　事前に教室配置図等で講義室をご確認ください。
　なお、受講者数等の関係で講義室が変更になることがあります。教員の指示や各学部の掲示にご注意ください。
　また、本学ホームページの「Web 掲示情報」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/information/）に、教室変更、休講、補講などについての情報が掲載されています。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）
　その他、携帯電話からも授業の掲示情報を確認できるようになりました。詳細は、本紙の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

オープン・クラス授業科目一覧

学部名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	試聴日	備　考
1	建築とリサイクル	堀　江　秀　夫	月・1	B-212	10	B	10/9・15	
2	イングリッシュ・ コミュニケーション中級２	B. ウイルソン	月・3	B-210	若干名	B	10/9・15	
3	プログラミングの基礎２	近　藤　　潔 小　松　裕　子	月・3	C-223	若干名	B	10/9・15	・「プログラミングの基礎１」を受講済み、または、Flashについての初歩的な理解を有することが望ましい。 ・パソコン使用
4	展示・プレゼンテーション英語	渡　邉　康　洋	月・3	C-437	若干名	B	10/9・15	
5	製品評価法	長　山　信　一	月・3	B-117	3	B	10/9・15	
6	デザイン史	大　熊　敏　之	火・1	B-116	5	B	10/2・16	
7	塗料化学	村　田　　聡	火・2	E-456	数名程度	B	10/2・16	「化学物質の世界」、「造形材料（有機材料１）」、「造形材料（有機材料２）」、「工学基礎」の受講しているか、またはそれに相当する知識を有していることが望ましい。
8	金属工芸技術史概論	三　船　温　尚	火・3	H-282	若干名	B	10/2・16	学生受講者数等を勘案して受け入れを判断する。
9	インテリア家具構法	丸　谷　芳　正	火・3	B-116	若干名	B	10/2・16	
10	音楽文化論	島　添　貴美子	火・3	C-221	若干名	B	10/2・16	
11	木質材料入門	堀　江　秀　夫	水・1	B-117	10	B	10/3・10	
12	造形材料（有機材料２）	村　田　　聡	水・1	E-456	数名程度	B	10/3・10	「造形のための化学入門」、「造形材料（有機材料１）」、「造形工学基礎」の受講していることが望ましい。
13	文化マネジメント論Ｂ	伊　東　順　二	水・1	C-437	若干名	B	10/3・10	
14	文化マネジメント論Ａ	伊　東　順　二	水・2	C-437	若干名	B	10/3・10	
15	CG デザイン入門（３D）	小　川　太　郎	木・3	C-223	若干名	B	10/4・11	パソコン使用
16	文化マネジメント論Ｃ	伊　東　順　二	木・3	C-221	若干名	B	10/4・11	
17	文化政策各論Ｂ	古　池　嘉　和	木・5	C-437	5	B	10/4・11	「文化政策論」、「文化政策各論」の受講が望ましい。
18	デジタルコンテンツ技術論	辻　合　秀　一	金・1	H-291	若干名	A	10/5・12	
19	工芸・デザイン材料	堀　江　秀　夫 村　田　　聡 長　柄　毅　一	金・1	B-210	10	B	10/5・12	
20	中国の言語と文化	山　田　眞　一	金・4	E-456	若干名	B	10/5・12	この科目の受講者は、「中国語会話Ⅰ」、「中国語会話Ⅱ」、「中国語作文Ⅰ」、「中国語作文Ⅱ」、「中国語読解Ⅰ」、「中国語読解Ⅱ」のうち２科目以上を受講していることが望ましい。
21	生型鋳造	清　水　克　朗	火・4～5 木・4～5	D-135 ほか	若干名	B	10/2・4	・12,300 円 ・開講期間：10/2 ～ 11/27 作業服・材料費が必要です。 ・学生受講者数を勘案の上決定する。
22	抽象立体表現	中　村　滝　雄	火・4～5	B-113	3	B	12/4・11	・開講期間：12/4 ～ 1/29 実習服・材料費が必要です。 ・「金属造形（彫刻）Ⅰ」、「金属造形（彫刻）Ⅱ」、「環境造形（立体）」、その他立体や空間に関わる科目を受講することが望ましい。

学部等名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	講義室	受　入 可能人数	難易度	試聴日	備　考
23	彫刻実習 B（塑像）	江　藤　　望	水・1～2	B-112	若干名	C	10/3・10	12,300 円
24	サインデザイン演習	武　山　良　三	木・1～2	C-222	若干名	B	11/29・ 12/6	・開講期間：11/29 ～ 1/31 ・パソコン使用
25	金工基礎演習	清　水　克　朗	金・4～5	D-142	若干名	B	10/5・12	・開講期間：10/5 ～ 11/22 作業服・材料費が必要です。 ・学生受講者数を勘案の上決定する。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途手続きが必要となりますので、受講生窓口（芸術文化系研究協力チーム）までお問い合わせください。

※講義室の収容人員の都合及びパソコン等機器の不足により受講できない場合があります。

※授業曜日・時限及び講義室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P45 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　**開講期間は、平成 24 年 10 月２日（火）～平成 25 年２月１日（金）まで** です。

詳細は、表紙裏の「平成 24 年度後学期授業日程」でご確認ください。

なお、授業時間は、次のとおりです。

時　限	1	2	3	4	5
時　間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書等）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。ただし、授業を所定回数受講された方には、修了証書を発行します。詳細は受講生窓口にお問い合わせください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項に添付してある「受講希望調書（杉谷キャンパス）」を **９月７日（金）から９月25日（火）まで** に杉谷キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴期間中に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、杉谷キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

杉谷キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届

・受講料

・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

杉谷キャンパス受講生窓口は、次のとおりです。

富山大学研究協力グループ
〒930-0194　富山市杉谷2630
TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656
通常は月曜日から金曜日の８：30から17:15まで受付けています。（祝日を除く）

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、杉谷キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。

受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　8,300円

（消費税込みです。**授業科目によっては受講料が8,300円以外の科目があります。**

その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。

また、複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。既に受講証の交付を受けている場合には、手続きの際に受講証をご提示ください。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講について）

3　休・補講の連絡については教員の指示や学部等掲示板での周知にご注意ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　受講生は、図書館の利用ができます。利用の際には、受講証をご提示ください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　科目によっては保険に必ず加入していただく科目がありますので、ご注意願います。
　加入手続きは、杉谷キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。なお杉谷キャンパスの駐車場は有料となっております。
　自家用車でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）

2　事前に教室配置図等で講義室をご確認ください。
　なお、受講者数等の関係で講義室が変更になることがあります。教員の指示や各学部の掲示にご注意ください。
　また、本学ホームページの「Web 掲示情報」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/information/）に、教室変更、休講、補講などについての情報が掲載されています。（トップページから「学生生活」あるいは「在学生」のメニューをクリックしてください。）
　その他、携帯電話からも授業の掲示情報を確認できるようになりました。詳細は、本紙の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

　なお、「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

医薬系学務グループ　教務チーム　　TEL ０７６－４３４－７１２６

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（杉谷）

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	講義室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	英語（講読Ⅱ）a	木 村 裕 三	火・3	101	若干名	A	10/2	
2	英語Ⅲb	木 村 裕 三	月・4	101	若干名	A	10/9	
3	数理科学	笹 野 一 洋	月・3	202	若干名	A	10/9	
4	医療統計学	折 笠 秀 樹	月・2	10	5	B	10/9	確率の知識があることが望ましい。
5	物理学Ⅱ	吉 田 勝 一	火・1	203	若干名	A	10/2 10/16	力学の知識があることが望ましい。
6	線型代数学	笹 野 一 洋	火・2	302	若干名	A	10/2	
7	現代物理学入門	山 口 直 洋 吉 田 勝 一	金・2	202	若干名	A	10/5	
8	生物無機化学入門	杉 森 保	火・2	303	5	B	10/2 10/16	大学初年次教養レベルの化学の知識が最低限必要です。
9	自然現象のモデル化とその解析	笹 野 一 洋	金・2	203	若干名	B	10/5	本学医学科・薬学部1年次前期開講科目「解析学」程度の内容を修得していること。
10	量子化学入門	高 橋 康 丈	火・2	203	若干名	B	10/2	

○専門科目

学部等名：医学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	講義室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	医学英語Ⅰ	木 村 裕 三	水・2	101	若干名	C	無	・Ⅰコースのみ受講可 ・1回目授業は9/26（水）
2	小児臨床医学	宮 脇 利 男	月・3	10	若干名	A	10/22	
3	老年看護論	竹 内 登美子	水・2	22	若干名	B	10/3	・10/3，10，17のみ受講可 ・5,300円

学部等名：薬学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	講義室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	物理薬剤学	細 谷 健 一	火・1	403	若干名	C	10/2	

※授業曜日・時限及び講義室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。